

セントメプレス創立5周年

祝 2018年合格報告 正規合格

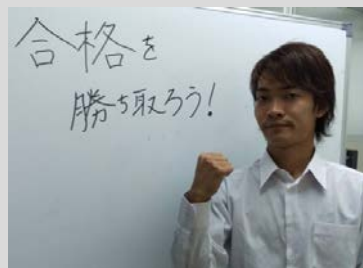
※その他繰上げ待ち多数 (2018年3月16日時点)

- ▶ 医学部 順天堂大学1名/藤田保健衛生大学3名/金沢医科大学1名/愛知医科大学1名
- ▶ 一般学部 慶應義塾大学文学部/早稲田大学文化構想学部/早稲田大学教育学部/上智大学文学部
 明治大学文学部/学習院大学経済学部/日本女子大学人間社会学部/名城大学農学部/金沢大学法学部 など

チューターご紹介 (曜日順)

月曜日担当

岡本尚樹(オカモト ナオキ)
名古屋大学医学部5年



セントメプレスクーターの、名古屋大学医学部医学科5年 岡本尚樹と申します。現在は医学部庭球部と医学部卓球部に所属しております。これから僕が医学部受験に向けて意識したことを、2点書かせて頂きます。受験を迎える方々の多少の参考になれば幸いです。1. 自分の現状実力把握。これまでの模試や学校のテストで分かります。志望校への距離を確認して下さい。2. 模試ごとの目標(短期目標)を立てること。短期の積み重ねが合格に繋がります。所詮模試だからと逃げないで下さい。

ここからは受験勉強の心構えについて書かせて頂きます。受験本番、例えば全部自分の苦手分野だったとしても合格点を取れるように、どんなに運がなくても本番絶対受かるように、と思いつながら日々勉強しました。このモチベーションを保ち続けることはかなり忍耐が必要でした。受験は皆さんが思っているよりずっと甘くないです。「努力した人が必ず報われるとは限らない。しかし成功した人は須らく努力している。」という講師の言葉を今も覚えています。どんな高い壁でも、乗り越えられない試練はないはず。皆さんが合格を勝ち取れるように全力で勉強、メンタル面共にサポートさせて頂きます。

火曜日担当

森澤 淳司(モリサワ ジュンジ)
名古屋大学医学部4年



こんにちは、チューターの森澤です。名古屋大学医学部医学科3年生(今年の春から4年生)です。自分は今、「基礎医学セミナー」というカリキュラムにより、医学の「勉強」から一旦離れ、生物統計学という研究室にお世話になっています。遺伝統計学の勉強、研究をさせてもらっているのですが、とてもおもしろいです。受験生のみなさんも志望大学のカリキュラムを調べてみるのはどうでしょうか。「あの大学に入りたい！」という気持ちが強くなり、より受験勉強に気合いが入るかもしれませんよ。

さて、受験生の皆さんへのアドバイスは、いろいろなことを考えるということです。何を意識して勉強すれば身につくのかを考える(覚えること? 考えること?)、今何を勉強すればいいかを考える(英単語? 積分? 有機化学?)、勉強せず遊んでしまうならその対策を考える(自習室に行ってみる? スマホを開かないでおく?)、受験本番を予想してその対策を考える(緊張したら? トイレに行きたくなったら?)...

そして、考えるためには、材料として多くの情報を得ることが重要です。是非、先生やチューターにいろいろ質問してくださいね。

水曜日担当

山下 瑞貴(ヤマシタ ミズキ)
愛知医科大学2年



※先月号でご紹介いたしました。

金曜日担当

櫻井 悠樹 (サクライ ユウキ)
名古屋大学医学部3年



どうもこんにちは。チューターの櫻井です。ラ・サール高校出身で、2年の浪人を経て名古屋大学医学部医学科に入学し、今度の春で3年になります。理科の選択は生物・化学で、得意科目は生物、苦手科目は数学でした。自分の受験生時代を思い返してみると、センター試験でなかなか高得点が取れなかったり、数学がなかなか伸びなかったりしてかなり苦労しました。しかし、時間をかけた甲斐あって、受験に必要な知識はもろろんのこと、それ以外にもたくさん学ぶことができました。その中でも、最も受験生たちに伝えたいのは「身の程を知るのが大事」ということです。これは、自分の力を過信しないということもありますが、卑下するのはいけないということも含まれます。自分の力量の見積もりが高すぎても低すぎても目標にどう到達していくかというプランニングができません。計画が立てられれば、あとはそのとおりに行動できれば、成功の確率は跳ね上がります。したがって、受験生たちには、自分の力がどの程度なのか、客観的に分析してもらいたいです。もし自分の力だけでというのが難しければ、我々チューターも力を貸します。どんどん質問しにきて下さい。楽しみに待っています。

プリティ中野のモノローグ

最後はやはり情熱がものをいうと思います。これまで多くの受験生のお世話をさせていただいてまいりましたが、結局最終的な受験の成否は本人の「どうしてもその大学に行きたい」という熱い思いがあるかないか、またそれを信じて見守る保護者の皆様の深い愛情で決まるのではないかと気がしています。無論、本格的な準備を始めたタイミングやその段階での学力は無視できない要因ですから、情熱がありさえすれば必ず最短で合格できるというわけではありません。目指すところが難関であればあるほどそうだとと言えます。けれども「諦めない限り敗北はない」と言われるように、ギブアップすることを潔しとしない、燃え上がるような情熱があるなら、結局最後には山頂に立つ日がやってくると思うのです。逆に言えば、それだけの情熱がないのなら、何年がかりでも山頂に立つことはできません。受験とどう向き合うかは、結局その見極めにかかっているということになります。

さてセントメプレスは今年20日で創立5周年を迎えることとなりました。これも生徒諸君と保護者の皆様から頂戴してまいりましたご支持のお陰であります。ここに厚く御礼申し上げますとともに、これからも不憚命指導に努めてまいりますので、どうぞ引き続き御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。